



イベント 終了しました

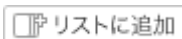
古書で紐解く近現代史セミナー8 「宮武外骨が伝える関東大震災～『震災画報』にみる震災時の人々」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	明治・大正期のジャーナリスト宮武外骨は、関東大震災直後の政府や市井の人々の動向をありのまま鋭く見つめ、『震災画報』を執筆・出版しました。米カリフォルニア駐在経験から1989年のサンフランシスコ地震の被害発生状況に詳しく、関西勤務時には阪神・淡路大震災で被災経験のあるナビゲーターが、『震災画報』を読んで感じたことや、今後に役立つと思うことについて語ります。
日にち	2014年08月28日（木） 19:00から21:00
日にち説明	当日の受付開始18:30～
場所	4階 スタジオプラス(小ホール)
定員	60名(申込順)
参加費用	500円(千代田区民無料)
講師・出演者	河合伸宏

プロフィール	■河合 伸宏 (かわい のぶひろ) 特別研究室ナビゲーター 元サッポロHD取締役。米カリフォルニア駐在経験から1989年のサンフランシスコ地震の被害発生状況に詳しく、関西勤務時には阪神・淡路大震災被災を経験。
主催	千代田区立日比谷図書文化館
申込期間	2014年07月18日 10:00 から2014年08月28日 19:00
申込方法	電話 (03-3502-3340) 、Eメール (college@hibiyal.jp) 、来館 (1階受付) いずれかにて、①講座名(または講演会名) 、②お名前 (よみがな) 、③電話番号をご連絡ください。
関連リンク	▶ 特別研究室企画展示 「一等国」に足りないもの
発信日	2014.07.18



印刷



リストに追加



ツイート

©2011 Hibiya Public Library. All Rights Reserved.